



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

# 志津南

## NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区まちづくり協議会

連絡先  
志津南市民センター (563-6206)

### 第15回志津南ふれあい夏まつり



フィナーレを飾った盆踊り

## 昨年以上回る3500人が参加 夏の夜、新趣向に盛り上がる

「第15回志津南ふれあい夏まつり」(同実行委員会主催)は7月28日、若草中央公園で開かれ、昨年を上回る約3500人が会場を訪れました。今年は、恒例のプログラムに加え、立命館大学チアリーダー部、フラダンスクラブが特別参加、チアリーダーたちのフレッシュな演技、優雅なフラダンスが会場をわかせました。また地元出身のプロの漫才師が司会者とコンビを組むなど、新しい試みが祭りを盛り上げました。また龍谷大学の学生取材班が復活、汗を流していました。

「みんなのふるさと！思い出いっぱいつくろう！」をキャッチフレーズに第15回志津南ふれあい夏まつりが7月28日夜、若草中央公園で行われ、昨年を上

回る3500人が会場を訪れました。小中学生や若い夫婦の子ども連れの姿などが目立ち同窓会のような風景もあり、大いに盛り上がった夏まつりとなりました。

最初のプログラムは、志津南小学校児童70人の「群読」、若草くるみ保育園児の今回が最後となる「まんまる音頭」、毎年祭り気分を盛り上げてくれる勇壮な「草津本陣太鼓&空手」と続き、今回初出場の「立命館大学チアリーダー」の若さ爆発はち切れんばかりのフレッシュな16人のチアリーダーの素晴らしい演技に観客全員が「わあ！」の歓声。

さらに地域の若者楽団「The Soul to Ask」(写真)健康はつらつ体操「カルテットE」の笛とギター「演奏」。陽が落ちた午後7時過ぎには、今回初参加のナ・メア・フラ・メ・ケアロハ「フラダンス」が披露され夜間の照明に浮かぶ舞台でのフラダンスで夏まつり気分は最高潮に達していました。続いて軽音楽団G・S・Oの演奏、「江州音頭・みんなで盆踊り」。そ

した。また多忙な中、あいさつに駆けつけた橋川涉草津市長はあいさつの後も会場にとどまり住民らと語り合う姿も見受けられました。

### プロの漫才師が司会



吉本興業の漫才師「ヤタカラス」の原田大樹さん(写真左)が夏まつりの舞台に初登場。昨年に続いて司会を務める中作薫さん(同右)とのやりとりも軽妙、とても初めてコンビを組んだとは思えない。

聞けば、原田さんは高校時代まで若草一丁目で過ごし、中作さんの息子さんとは小中学校の同級生。いわば親子みたいなもの。息がぴったりなのもうなずける。舞台経験はまだ2年ほどだが、今後の飛躍が期待できそう。

この夏まつりは4月の準備委員会を皮切りに4回の実行委員会を開催、各町内会、25団体総勢数百人の綿密な準備と協力があって開催されました。今年実行委員長をやらせていただき、「ふるさととは優しく暖かいな」と強く感じました。

最後に、今年からの新企画「ふれあい夏まつり思い出写真・絵手紙展」を8月24日(金)、25日(土)に志津南公民館で開催します。多数の応募をお待ちしています。

(第15回志津南ふれあい夏まつり実行委員長 小川裕民)





### 南国ムード運ぶフラ

すっかり陽が暮れて、外も随分涼しくなってきた頃、私たちに更に爽やかな風を送ってくれたフラダンスチーム「ナ・メ・ア・フラ・メ・ケアロハ」。

そして、代表の梶幸子先生も注目ポイントだとおっしゃっていた、ケイキちゃんと呼ばれる子どもたちのフラダンスのステージには思わず「かわいい！」との声の周りから聞こえてくるような演技を見せてくれました。

この志津南ふれあい夏まつりに初めてこの登場でしたが、皆さんの楽しそうに踊っている姿を見て、夏の暑さも心地よくなるような、そんな素敵な空気が流れた時間でした。

## 花添えたチアリーダー

おそろいの白いユニホーム、ミニスカートが軽やかに宙を舞い、躍動する。志津南ふれあい夏まつりに初めてお目見えた立命館大学BKIC(びわこ・くさつキャンパス)応援団チアリーダー部の人の演技が観客の目を奪いました。

BGMに乗って、ただ踊るだけなく、組み体操や跳び技も入る演技を連発。一糸乱れぬ激しい動きにも上がる息を抑え笑みを絶やさないとはいませんが。

チアリーダーの長谷川恵梨さん(映像学部4年生)は写真真下中央によると、大学の応援ばかりでなく、地域の夏祭りなどに出演したこともあるということ

で、今回は実行委員会の要請で実現しました。決まっていたらメンバーを選び、どういうイベントかを考えて選曲、1〜2週間前から練習を重ねたそうです。

何がうれしいか？ってはずねると「ウォーとか、楽しかったと声をもらったとき」。長谷川さんはさわやかな笑顔でこう答えてくれました。



### 祭りはやっぱり浴衣

(龍谷大 中村香織)



お祭りといえは、そう「浴衣」。女の子も男の子も、毎年お祭り日には自慢の浴衣を着ていくのを楽しみにしていることでしょう。

今年も個性豊かな可愛らしい浴衣を着た子どもたちが水風船や金魚を持っている姿を見て、ああ、今年も夏が来たな、としみじみと感じました。

(中村香織)

### かき氷に行列

夏の定番といえはかき氷。お祭りのかき氷は一段とおいしく、涼しさを運んでくれます。今年も大人気で、いつものことながらお店の前には行列。子どもたちはできあがったかき氷を受け取ると、夢中で口に運び、食べた後は赤や緑に染まった舌を友達同士で見せ合っていました。

(龍谷大 森川真佑)



### 力強い本陣太鼓

草津本陣太鼓と空手のコラボレーションは、その力強さが見る人を圧倒しました。太鼓のリズムが体に響き、勇ましい空手の演武にあっという間に引き込まれます。



まれます。

汗を流しながら一心不乱に

太鼓を叩き、演武に取り組み姿から目が離せません。日本文化の素晴らしさを改めて感じました。

(森川真佑)

### 揃いのハッピで盆踊り

午後8時、いよいよお待ちかねの盆踊り。やぐらの上で六地藏江州音頭同好会のみなさんが歌う江州音頭にあわせて、子ども会の子どもたちが輪になって踊ります。子どもたちは赤いお揃いのハッピを着て気合い十分。元気いっぱい「ドッコイサノセー」の掛け声が場を盛り上げました。

「暑くて、しんどいけど楽しい」と子どもたちは満足そう。



お祭りが終わると、踊り方を忘れるけど、毎年この頃になると思い出すそうです。それほど馴染みになっている踊りの輪が会場いっぱい広がりました。

(森川真佑)



# 交通防犯委員会が防犯マップづくり

志津南地区交通防犯委員会（川崎芳明委員長）は7月22日（土）も会（清水弥永会長、28人）



地区内パトロールの結果を話し合う子どもたち

と老人クラブ若寿会（奥田隆三会長、25人）の協力と草津市総合政策部危機管理課の支援を得て「体験型防犯教室」を市民センター（公民館）で開催しました。

草津市の平成23年度犯罪件数は1850件、犯罪率は13.8%、いずれも県下ワースト2位にあります。今回の防犯教室は、住民一人ひとりの防犯意識を高めるために開催したもので、あわせて58人の参加者は防犯意識とともに志津南地区の防犯の現状について学びました。

午前中は市民センター大会議室で、

室で、危機管理課の八田渉さんから、犯罪が起こりやすい場所（入りやすくて見えにくい場所）

例えは若草六丁目から追分町の抜け道、犯罪が起こりにくい場所（入りにくくて見えやすい場所）、ひたたくり対策、かたり詐欺対応、犯罪防止のポイントなど、犯罪のパターンや防犯留意点を聴きました。

午後からは、3班に分かれて暑い中、約一時間地区内を歩き、子どもと大人の視点で危険箇所をチェックしました。このあと市民センターに戻り、会議室で各班ごとにチェックした危険箇所情報をまとめ発表しました。

この日の防犯チェックの結果をもとに、草津市は「志津南地区防犯マップ」を作成、今年11月頃には全戸に配布される予定です。

志津南地区は他の地区に比べ

## 子どもたちが七夕楽しむ

子育てグループが七夕会



比較的全備された住宅地で見通しがよいといえますが、常に「人の少ない場所」「目線の死角になる場所」「無関心になりそう

子育てグループ「若草おやっこクラブ」「ひよっこクラブ」は合同で7月5日、市民センターで七夕会を開催、40組あまりの親子がひとときを楽しく過ごしました。写真。

スタッフの説明を聞きながら子どもたちは色紙やはさみ・クレヨンを使いながらスイカや輪っか、ちようちん、たこなど、そして、色水の付いた幼児の手形が織姫星の着物の柄にした短冊などかわいい飾り物をたくさん作り、笹の小枝につけ完成すると幼児たちは満足そうな笑顔で笹を持って会場を走りまわっていました。工作に夢中なお母さんたちの姿も。最後にプレセントの折り紙を手にみんなで大きな声で七夕さま歌い楽しいひと時を過ごしました。

（民児協）

な場所」に関心をもっていただければ、犯罪者に対する「心の威嚇」になるのではないだろうか。

ち、学校帰りの児童たち約15人が集まり、それぞれ短冊に願いごとを書き、スタッフに教わりながら器用にはさみを使いながら見事に長いちようちんや輪っかなぎなど笹につけ軒先にとどきそうな背丈の笹飾りを完成させると、幼児たちも見上げ手をたたくて喜んでいました。

なお若草文庫は小学校の夏休み中はお休みです。9月5日（水）午後2時から再開します。大人用の文庫本もあります。どなたでもお気軽に借りに来て下さい。

### やすらぎ学級公開講座 「笑い与健康体操」

▽日時 8月22日（水）

午後1時30分～3時

▽場所 志津南市民センター

▽講師 落語家 桂三金さん、健康トレーナー堀江利恵さん

▽参加費 無料

どなたでも参加していただけます。動きやすい服装でお越しください。

▽問い合わせ

志津南市民センター（公民館）

## 言葉の葉っぱ ことばれ話

### なぜ「犬」なの？

犬と人間の付き合いは一万年以上前にさかのぼると言われるほど古いものです。では一体この「犬」という言葉はどこからきたのでしょうか。

漢語の「犬」(ケン)はクエン、クエンという鳴き声の擬声語だとか。としたら、犬は古訓

に「アヌ」とあるので、さしずめエン、エン。「ア」は、実はW音で始まりますからウエン、ウエンと鳴き声が聞こえたのかもしれない。



擬声語といえ、ギリシャ語の kyon もラテン語の canis もドイツ語の Hund も英語の hound も、クンクン、キャンキャンの鳴き声からで、この仲間に入ります。

ところが、英語の dog の語源は「dog」という言葉に由来し

ているようです。古英語には「dog」で終わる動物名がいくつもあります。例えば「frogga (frog + ga)」は「跳ねるやつ」で「frog (蛙)」となります。これ

いくと、dogga (dog + ga) または dog + ga) の dog は「言われたことをやるやつ」、「dog なら強いやつ」、「役に立つやつ」といった意味合いで、これが dog になったと思われま

たに伝わり、「大型の強い犬」の意味に使われます。少しジョ

紳士的で愛犬精神に富んでいるといわれるイギリス人ですが、昔は犬に牡牛や熊と闘わせて楽しんでいたようです。ブルドッグも「bull (牡牛) + bating (噛む) やつ」から来たのだと言われると、ちょっと引いてしまいます。

それでも、そうした意味合いはいつしか忘れられ、忠実な犬は人間と愛情豊かな強い絆(きずな)で結ばれるようになったのです。

### 若草文庫も七夕飾り

若草文庫でも7月4日、若草第3集会所で七夕飾りを楽しみました。

当日はおかあさんと幼児た

# 集会所補修は賛成多数

## 来年度中の実施決まる

若草地区にある5棟の集会所に  
関し、「集会所基金」の範囲  
内で草津市の補助金制度を活用  
して屋根と外壁の補修を行う計  
画を住民皆さんに提示、賛否・  
意見などを回答していただくよ  
うお願いしていました。

回答票は地区全909戸のう  
ち、550戸から提出(回収率  
61%)をいただき、そのうち「賛  
同する」が535戸(97%)、「賛  
同しない」が15戸(3%)でし  
た。この結果、住民大多数の賛  
同が得られましたので、「補修  
計画」に従って、8月中旬に草津  
市に来年度の補助金予算措置を  
申し入れ、来年度中に5棟全  
ての補修を実施するよう進めて  
いきます。

将来の計画については「賛同  
しない」方々のご意見はもとよ  
り、「賛同する」方々からもち  
くさんのご意見をいただけてお  
りますので、参考にさせていただきます  
ながら検討し、案がまとま  
ればまた皆さんに提示してご意  
見をお伺いしたいと思っております  
ので、よろしくお願ひいたします。

# わんぱくが 魚の命学ぶ

地域協働学校・わんぱくプラ  
ザ南っ子は7月21日、米原の醒  
ヶ井養鱒場で「さかなの命を学  
ぶ」をテーマに館外研修を行  
いました。

醒ヶ井養鱒場は日本最古の養  
鱒場で、ニジマス、アマゴ、イ  
ワナ、チョウザメなどが飼育さ  
れています。



川で魚を追う子どもたち

前日からの雨で魚釣り体験や  
ふれあい河川での魚たちとのふ  
れあいが心配されましたが、「さ  
かな学習館」での養鱒場の歴史  
や養殖の方法などを学習してい  
る間に、雨も小降りとなり、予  
定通り実施できました。

魚釣り体験では、えさを付け、  
池に糸をたらすと20匹ほどの鱒  
が掛かるなど全員が大漁。釣っ  
た一匹を昼食のおかずとして、

# パソコン講座生募集

志津南市民センターは高齢者  
等つとしい推進事業の一つとし  
て、次の要領で「パソコン使い  
こなし講座」を開催します。ふ  
るつてご参加下さい。

日時 9月19日(水)  
10時〜15時

9月20日(木)  
10時〜12時

内容 パソコンでレターセッ  
トを作ります。

塩焼きにしてもいい、新鮮な串  
焼きにみんな満足し骨だけを残  
し、しっかりと食べました。

雨も上がり、ふれあい河川で  
はニジマスを追いかけたり、チ  
ョウザメに触ってさかなたちと  
元気に遊びました。

変わりやすい天気でしたが、  
子どもたちは元気いっぱい活動  
した一日となりました。

# 折々の記



6月中旬、公民館に子ども  
たちが駆け込んできました。「猫  
がはさまってるー!」あわてて子  
どもたちに連れられ

## 子猫のハク

公園に行くところには  
植木の中に逃げ込  
んだ白い子猫がいました。「こ  
れははさまってるんじゃないか  
と、追いかけてられてびっくりに  
て逃げこんでるんだからからそ  
つとしてあげようね」。

子どもたちも大騒ぎの捕り物  
劇が繰り広げられた後、引き取  
り手のいない彼(猫)は私に連  
れられわが家へとやってしま  
した。これが今やリビングでお腹  
を見せて眠りかけている彼はす  
っかり飼猫となつてしまいま  
した。ハクと名づけた子猫との  
出合いはこんな風でした。

猫の男の子は甘えん坊、女の  
子はクールと言われる通り、彼  
は独りを良しとはしません。あ  
り余る好奇心を子猫に全力で発  
揮させるため、私は心休まりま  
せん。家にいる時間は彼のおも  
ちゃを振ってばかりです。でも  
そんなところがかわいくてずっ  
と一緒にいたいと思つてしま  
います。

ごはんを食べている最中や離  
れる時に彼は片方の前足を前後  
にすりすりします。

気になって調べてみ  
ると、お気に入りの  
ごはんを後に残して食べるため  
に砂で隠す(つもり)の行動で  
した。砂なんてないのに空気を  
かぶせて隠せているつもりなん  
だから笑ってしまいますね。

「動物を飼うとは命があるこ  
とだから大変」「動物は先に死  
んでしまつたら飼つたらあとが  
寂しい」。飼わない理由が今ま  
で私の中にあつたけれど、これ  
からは「動物と一緒にいて得ら  
れる幸せ」を感じて過ごしてい  
きたいと思ひます。

(すっかり猫好きのY)

対象 志津南地区在住の60歳  
以上の方

受講料 900円(1回300  
3回分)

場所 志津南市民センター  
定員 10人(先着順)

申込み 8月20日(月)から  
9月10日(月)午後5  
時まで  
志津南市民センターで申し込  
みを受け付けます(電話不可)。

- こよみ**
- 8月18日(土)
    - ☆健康ウォーキング
    - 8:15 若草中央公園集合
  - 8月22日(水)
    - ★やすらぎ学級 公開講座
    - 13:30~17:00
  - 8月25日(土)
    - ☆社会奉仕
    - 8:30 若草中央公園集合
    - ★人権講座・第三講座
    - 19:00~
  - 9月1日(土)
    - ☆健康ウォーキング
    - 8:15 若草中央公園集合
    - ★環境講座(公開講座)
    - 13:30~
  - 9月7日(金)
    - ★ふれあい昼食会
    - ボランティア「泉」
    - 12:00~13:00
  - 9月11日(火)
    - ★地域サロン:懐メロを歌う会
    - 10:00~11:30
- 
- 毎週金曜日
    - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
    - 若草第五集会所(五丁目)
    - 10:00~12:00
  - 毎週金曜日を除く毎日
    - ☆ふれあいハウス「絆」
    - 若草第六集会所(六丁目)
    - 10:00~16:00
- ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です